

不当解雇訴訟 14回口頭弁論

炭労中央委員会（5月29日）から



きく割り込んでいた。

▲ 円高の進行や需要側の引き取

ではないか。

△ そうではない。諮問時点で経済合意の範囲を超えていた。

▲ 政策確定前に、厳しさを予測

つたか。

り売れ行きが落ちたら当然対策

とか、他社の減産分を埋めるな
を立てるべきで、七次策の延長

どという見方は甘く、見当違いだ。

▲ 三池炭鉱が生き残れると思う

△ 企業の資質による。適切な計

画と経営が行われたら当然生き残れると思った。

一味の不安を感ぜないで。

られません。

んだん少なくなっていくます。

年退職による移転などによって、
に行かれる方をたくさん送っ

きました、時折りその方々
 出会いますが、話が気

ず時間を忘れてしまひさうで

本當にきびしい第九次石炭政

残すために先輩の皆さんから

んだことを思い起こしながら
張っていきたいと思っていま

[illegible]